

かたらんね〜

須恵町のスポーツ団体・文化団体を紹介します。みなさんも一緒にやってみませんか？

第3回 弓道部

新企画の3回目は、古武道の弓道です。古代より弓は生活の一部であり、江戸時代に武士のたしなみとして、集大成された武道です。弓道は「真・善・美」を求めたものです。

活動状況は

現在、永吉加代子教士を中心に、中学1年生から81歳までの方が練習しています。練習日は、月・水・金曜日の午後7時から10時までで、水・金曜日は、午後1時から4時の間にも行っています。練習場は、素足やストッキングはダメで足袋だそうです。

弓道は1人でも楽しめる武道であり、スポーツでもあります。素朴で親しみやすく年齢や男女の制限はありません。来てすぐに的に向かって矢を離す事はできませんが、指導者の言われる事を素直に聞いて理解できれば、的前で引けるようになるのも時間はかからないと思います。

興味のある方は、ぜひ見学に来てください。



凛とした緊張感の中、弓を射る音だけが場内に響いていました。

競技は

○近的競技

射位から28m先の直径36cmの的で、的中制により競技する。

○遠的競技

射位から60m先の直径100cmの的で、的中制または得点制により競技する。

※的中制…的の中^{あた}ったところに関係なく、中った矢の本数で順位を決める。

※得点制…的の中心ほど得点が高く、点の高い方から順位を決める。

大会は他のスポーツと同じように地区で行なう大会から全国大会まであります。

議会広報を読んで

よく読んでいます。議会の活動がよく分かります、との感想をいただきました。



普段のにこやかな表情で。



永吉加代子さん、伊藤久生さんにお話を伺いました。

自然・人間
激しい災害が増えた。古来災害が多い日本列島だが、このところ凄まじい。
穏やかな自然。そしてその自然と調和した穏やかな人間。これが日本人のイメージではないか。日本人が歴史の中で時折見せる激しさも、自然災害の激しさと重なるように思う。

しかしながら、この頃の、過酷で極端で頻^{ひん}繁な災害もたらずもの。直接的な被害も無論痛ましいが、日本人の穏やかな気質が、これらの影響を受け、過酷で極端で容赦ないものに変わりはしないかと恐れる。

様々に報道される事件にその兆しを感じてならない。災害に強い社会は、人間に優しいばかりでなく、歴史も文化も未来も、全てを守る作用があると信じ、防災減災を推進してまいりたい。

田ノ上 真

編集後記

発行責任者

議長：松山 力弥

広報特別委員会

委員長：田ノ上 真

副委員長：今村 桂子

委員：三角 栄重

委員：稲永 辰己